

## 前略

この度はお息子のことで大変お世話になりました。

お陰様で五年振りにお会いすることができ本当に感謝しております。

郵便局で私を見て最初気が付かなかったそうです。マスクをしていった事

と老けたことで誰かと思ったそうです。母親だと判った後、逃げる

こともなく結局四時間も話しこんでしまいました。桜を見ながら……

土曜日には父親に二つ三発殴られる覚悟で帰って来ましたが、

「お帰りに」と迎えてくれたのでホッとしました。

今月中にはあそこを出て、家に戻って来る事になりました。

土曜日には家族全員揃って五年振りに賑やかに過ごしました。

本人もその日は泊まると、ゆっくりあのアパートへ帰って行きました。

親としては二度とあそこへ帰らせたくないので、色々なことをか

そのままだなっているので、任せておきな……と思っ、きちんと始末をして

とにかく一刻も早く出る様に話しました。毎日メールと電話で話し

ておきますの。一度にはできないから「待つて……」と言うことでした。

私の頭の中では五年という時間があまりにも長すぎて、メールをとともアドレスが変わってしまわないか？携帯が通じなくなってるんじゃないかと

いつまでたってもドキドキする。本人はもうどこにも行かないし、必ず今月中に帰ってくるからと言ってるのが……

いろいろ話をする中で、何でいなくなったの、逃げたの？話を聞いてみると誤解や勘違いもあり、そうだったのか……と言ったことはいくさんありました。でも、ふも息子を見つけ、戻ったからでまたのことです。本当にお願いして良かったと思っております。